和の文化を受けつぐ

――和菓子をさぐる

第一次指導

一よむ　七区画七人

①わたしたちの
②えいきょうを
③江戸時代に
④次に、和菓子と
⑤また、和菓子は
⑥このように、和菓子は、
⑦一方、和菓子を

二とく

○題目

・和とは＝日本。
　和の文化＝日本の文化。
・様々な文化の中から何について書いているか。　和菓子。
・和菓子を二つに分ける。
　和＋菓子。
・和菓子＝日本の菓子
　⇔
　洋菓子＝西洋の菓子。

◎ひびき

・受けつぐのは誰か。日本の文化を受け継ぐのは誰か。
　日本の人。
・受け継いできた例として取り上げたものが。　和菓子。
・受け継ぐということは昔から同じ物を食べてきているということか。　違う。

○手引き

・菓子は変わってきた。日本の菓子を変えたものを書く。
・1に二つ、2に三つ。あとは一つずつ。
・1は変わる前の菓子の始まり。

六とく

○事実・区分

・何を食べるか決まっている日がある。何番？　4。
・いつ、何を食べるのか。
　三月三日　菱餅、草餅
　五月五日　柏餅、ちまき
・こういう和菓子は、日本に初めからあったか。　ない
・初めの頃の菓子は、何だったのか。　木の実、果物。
・それが今のような和菓子に変わってきた。変えてくれたものはどこの国から伝えられたか。

（板書）

日本＝
和の文化を受けつぐ
~~洋~~和菓子をさぐる

1 木の実 果物（もち　だんご）
2 唐菓子 点心 南蛮菓子（中―　ポー、スー）
3 さとう（中―、オー）
4 年中行事（三月三日　ひー、草―　五月五日　かー、ちー　四季）
5 茶道
6 職人
7 食べる人

唐菓子、点心＝中国
南蛮菓子＝ポルトガル、スペイン
砂糖＝中国、オランダ

・日本の中でお菓子を変えてくれたのは何か。　年中行事
　茶道

・この二つは、題目の言葉で言うと何と言えるか。文化。
・茶道のお菓子は日本の何と関わりが深いのか。　四季。
・そのお菓子を上手に作る人を何と言うか。　職人。

◎山

・和菓子を受け継いできたのは、誰か。　職人。
・職人だけか？　食べる人。
・食べる人とは誰か。私たち。

＜区分＞

・二つに分けるとすれば。
　1～3と4～7。
・1～3は何か。　歴史
・1～3は昔のこと。4～7は。
　今のこと。
・1の頃は菓子とは言わなかったが、今は菓子としても食べているものは。　もち・だんご

七よむ

○余韻

・どういうお菓子が受け継がれると思うか。　おいしい。

令二・八・八　　案